

写真

応募点数	186点	招待作品	49点
入賞点数	7点	展示点数	195点
入選点数	139点	◎は移動展出品作品	

(総評) 50回の記念展という歴史ある島根県展に、どんな作品が集まるのか楽しみにしてきました。一次審査では、被写体がバラエティーに富んでいて、自由な視点でシャッターを切っていることが伝わってきました。

入賞作品は、県内の風土や祭りなどを的確に捉えた写真が揃い、レベルの高さを感じられました。特にフレーミングが的確で、無駄なものが省かれていることによって、作者が何を撮ろうとしているのかが、審査をする側にもしっかりと伝わってきました。また、写真の中に物語が内包されているものや、作者の意図を越えてその内容を「読む」ことのできる作品が多数ありました。それは、目の前の出来事をただ切り取るのではなく、その光景を通して作者の思いを伝えるという作品づくりの面白さを理解している証だと思えます。写真は撮って終わりではありません。その中からどれを選ぶかで、作品の完成度は大きく変わります。上位の人には写真力の高い人が揃っていると感じました。入賞とはならなかった作品に共通しているのは、「何を撮ろうとしているのか」が明確でないということです。撮影現場で作品に仕上げるのは簡単なことではありません。主役を見つけ、それをどう撮るのか、これこそが作品づくりの基本です。何かを感じた瞬間にシャッターをきるというのは大切なことです。光の選択、背景の見極め、カメラの位置といったひと工夫によって、ほかの人とは違った作品が生まれます。来年は、51回目という新たな一步を踏み出すことになるので、ぜひ島根県の写真文化の高さを示すためにも、さらに全体のレベルアップを期待したいところです。

島根で写真を楽しむ皆さんには、島根の魅力をもっと発信してほしいと思います。県外に行けば新鮮な気持ちで撮れるのですが、いままで見逃していた「島根のいいところ」を丹念に撮り続け、アピールすることが写真愛好家の大切な役割だと感じました。

(文責 藤森 邦晃/株式会社 日本写真企画 フォトコン編集部 取締役編集長)

知事賞 ◎

たそがれ
黄昏

きむら えつこ (奥出雲町)

夕方の温かく優しい光が射し込むなか、たんぼやあぜ道の草が美しく輝いている最高の舞台を選んだことで、とても印象的な作品となっています。

逆光での撮影であるため、人物がシルエットになっています。

また、被写体の手や足に動きのある瞬間をとらえることができています。これにより、家族の会話が聞こえてくるような作品に仕上がりました。

画面奥の電線や屋根の輝きにも、光あふれるイメージを強めてくれる効果があり、よい脇役になっています。

知事賞おめでとうございます。

(文責 藤森 邦晃/株式会社 日本写真企画 フォトコン編集部 取締役編集長)

金 賞 ⑧

せいじやく
静寂

なか がわ ひでお (松江市)

雪の降る出雲大社の神楽殿へお参りする三人の女性達が撮られています。望遠レンズを使うことによって、奥行きのある作品に仕上げた見事な作品となっています。画面全体に大小様々な雪が写されています。望遠効果によって降る雪が圧縮され、均等に写されているのが良く、雪の日の状況が上手く伝わってきます。また、三人の女性達の立ち位置も良く、バランスの取れた写真となっています。女性達の傘に色があつたらもっとよかつたと思います。地元出雲大社の大注連縄が、島根らしさを表しており、金賞にふさわしい作品と思います。おめでとうございます。

(文責 行長 好友)

銀 賞 ⑧

かんぎよう
寒行

わか つき あいじろう (雲南市)

写真は瞬間芸術ともいわれていますが、この作品は、その言葉がふさわしい作品です。山陰では、多くの寺院でこの水行を行います、これだけ気合の入った作品は、あまり見たことがありません。

一人一人の人間の姿が神格化されたように、強烈なリズムを感じます。この画面には、見物する人達の姿が殆ど見られず、作品の力強さを浮き立たせています。

また、画面構成もよく、全体の映像をリアルに見せているのが下に敷いてある「ムシロ」です。ムシロと人間が一体となり、相乗効果を生み出しており、全体にリズムを感じます。

高速シャッターでの撮影が、これだけのすばらしい瞬間を写し出しています。寒行のきびしさと修行僧の意気込みが聞こえてくるような、よい作品です。入賞おめでとうございます。

(文責 川本 貢功)

銀 賞 ⑧

しょう
翔

はら こう じ (松江市)

この作品の素晴らしさは、なんとと言っても的確な切り取り方で構成され、さらに被写体である鳥の眼が見えていることです。鋭く前を見据えたこの鳥の眼が、わずかな赤と黄色で上手く表現されていることが決定的です。これにより、この作品の評価を高くしています。

なお、左端で鳥の足先が切れていますが、意図的なのか、偶然なのか、鳥の足先を切ることで、鑑賞者の視線を自然に鳥の眼に導いています。足先は鑑賞者の想像に任せることで、力強さが加わっています。

入賞おめでとうございます。

(文責 品川 功)

銅賞 ⑧

にゅうこん
入魂

いし とび けい 子
石飛桂子 (出雲市)

書道パフォーマンスでの作品でしょうか、書家の筆の一文一文に込められた気迫とその魂を感じるすばらしい組写真に仕上がっています。特に、真ん中の上から撮った写真が、組写真全体に変化をつけ、作品全体に心地良いリズムを与えています。

また、3枚の写真の中に顔が見えていないからこそ、見る人が自由にストーリーを楽しめる秀作となっています。

作者の写真技術と高い感性に感心しました。

入賞おめでとうございます。

(文責 佐々木 聡)

銅賞 ⑧

まなざし
眼差し

ふく だ かず とし
福田一壽 (安来市)

ウィンドサーフィンの一瞬の一コマでしょうか。この作品の魅力は、なんとと言っても被写体の表情にあります。親子だと思いますが危険を伴う瞬間においても、親子の絆さえ感じられる写真になっています。また人物の配置も良く、人物の前を空けることで動感が表現されており、構図の妙も感じられます。入賞おめでとうございます。

(文責 大下 浩昭)

銅賞 ⑧

なぎさ おも で
渚の思い出

かわ かみ やす まさ
川上泰正 (出雲市)

シルエットをモチーフとした写真が数多く出品された今回のなか、ずば抜けて良い写真の1枚です。撮影地は、江津市の黒松海岸でしょうか。背景の中央に二本の松が立てられている岩は、地元では「オシテグリ」と呼ばれ、毎月7月の大島例大祭の舟神事の重要なポイントです。このロケーションに釣を楽しむ父子の距離、立ち位置が絶妙であり、手前の浜が黒く引き締まっており、画面全体の空・海・岸のバランスも丁度よく、シルエットの形は、申し分なくいいタイミングで捕えられています。

ご入賞おめでとうございます。

(文責 小林 茂雄)

入 選

	題 名	氏 名	備 考
	朝霧に包まれて	木 村 克 己 (出雲市)	
	霧の朝	田 中 作 夫 (出雲市)	
	生きる	吉 田 豊 美 (出雲市)	
	棚田の夕暮	後 藤 孝 司 (出雲市)	特選
	奉納	周 藤 茂 男 (出雲市)	
㊦	朝霧の大社	徳 島 義 孝 (雲南市)	奨励賞
	休日	太 田 勤 (松江市)	
	観音祭りの日	土 井 富 雄 (松江市)	
	朝光	山 田 恭 敬 (出雲市)	
	たたらの里	品 川 清 一 (出雲市)	特選
	幽玄	岡 田 稔 (雲南市)	
	煌きの刻	宮 野 輝 夫 (米子市)	
	白鷺	春 日 通 男 (出雲市)	
	芙蓉一輪	原 正 治 (松江市)	
㊦	少年と犬	大 竹 民 子 (松江市)	奨励賞
	漁火	芝 原 本 修 (松江市)	特選
	すとりーとだんさー	稲 田 崇 (安来市)	
	翔	島 本 睦 男 (松江市)	特選
	神事	遠 藤 伸 (出雲市)	
㊦	黄昏の神域	勝 部 美智夫 (出雲市)	奨励賞
	夕焼けの寺院	田 坂 将 (出雲市)	
	虚無僧行脚	岡 本 和 久 (松江市)	
	幽玄の美	宮 崎 文 恵 (松江市)	
	神事	武 田 節 朗 (松江市)	
㊦	群青	川 上 政 光 (出雲市)	奨励賞
	漁村風景	渡 邊 克 彦 (松江市)	
	家族	藤 原 あや子 (松江市)	
	花火	田 中 純 子 (松江市)	特選
	祭日	岸 本 正 信 (松江市)	
	旭光	福 寄 富久江 (松江市)	
㊦	サングラスの女	橘 重 孝 (大田市)	
	蓮池にて	石 川 陽 子 (松江市)	
	叫び	山 下 壮 一 (出雲市)	
㊦	溪流のハンター	岩 本 克 幸 (出雲市)	奨励賞
	アイコンタクト	石 倉 太 介 (出雲市)	
	樂園	福 島 一 夫 (出雲市)	特選
	初秋	庄 司 成 雄 (松江市)	特選
	踏躰場の火垂る	金 崎 操 (出雲市)	特選
	獅子舞	田 村 啓 子 (松江市)	特選
	波紋	佐 藤 伸 二 (出雲市)	
	ある日常	石 倉 貞 昭 (松江市)	

題名	氏名	備考
渾身の舞	米田直之(安来市)	
連なる	西尾透(出雲市)	
船神事	本田研治(出雲市)	
疾走	平塚健藏(松江市)	
初秋	細田恵子(出雲市)	特選
猛吹雪	武田清(雲南市)	
⑧ 雨上がりの街角	梅田繁(江津市)	
ふるさと	原瀬美規(安来市)	
砂丘にて	内藤章江(松江市)	
航空祭より	田中康治(松江市)	
海を眺め回想する老女	伊藤朗(出雲市)	
シルエットロマン	須谷厚子(出雲市)	
「モンサンミッシェルの風に乗って」	押柄隆夫(松江市)	
未来	池田幸枝(安来市)	特選
少女	権田宏(松江市)	
SPEED	岩佐卓美(米子市)	
雨の中の祭典	遠藤勉(安来市)	
私の宝物	小崎頼光(米子市)	
⑧ まつり	桑原達也(安来市)	優秀賞
⑧ シルエットの少女	ト蔵透(安来市)	奨励賞
春のおとずれ	門脇玄一郎(安来市)	
暴れ竜突入!	坂本新次(出雲市)	
捧げる	加藤哲夫(奥出雲町)	
鏝淵寺今年の弁慶さん	安部勲(奥出雲町)	
片かげり	和泉一朗(奥出雲町)	
デッドヒート	荒木義人(奥出雲町)	
節分の日	若月康男(奥出雲町)	
夜叉	内田定廣(奥出雲町)	
猿黙考	東條直樹(奥出雲町)	
凝視	山根猛(奥出雲町)	
たそがれ	寺西孝子(奥出雲町)	
光線の沢	糸原輝幸(奥出雲町)	
おきな草	糸原詩郎(奥出雲町)	
いっしょに	楫ヶ瀬進(大東町)	
ヒガンバナ	牛尾吉郎(奥出雲町)	
1人美しく	桑原勇(奥出雲町)	
はじける青春	牧原丈夫(松江市)	
夜明け	松浦弘道(松江市)	特選
霧の中光を受けて	林悟(出雲市)	特選
⑧ 大雪の予感	秋重学(松江市)	優秀賞
子供の世界	伊藤以都子(松江市)	
ドラマチックな朝	植田勝(松江市)	
ゆうやけこやけ	鶴島里子(松江市)	

	題 名	氏 名	備 考
	男の祭り	半 田 恵美子 (隠岐の島町)	
㊦	帰り道	小 村 泰 久 (出雲市)	奨励賞
	行道	長 瀬 祐 (松江市)	特選
	未知との遭遇	金 田 範 由 (松江市)	
	家路	佐々木 智 範 (松江市)	
	舞姫	迫 光 徳 (松江市)	
	最後の攻防	上 野 卯之松 (隠岐の島町)	
	快走	奥 村 茂 (隠岐の島町)	特選
	熱演	福 塚 功 (松江市)	
	レゾンデートル	岡 本 光 平 (松江市)	
	小さきお花見客	竹 内 功 (出雲市)	
	生まれ	高 梨 文 博 (隠岐の島町)	
	年の初めに	木 下 時 雄 (隠岐の島町)	
㊦	遊	高 橋 美和子 (松江市)	奨励賞
	宍道湖の暮色	坂 本 憲 三 (松江市)	
	不味の心	若 槻 明 郎 (松江市)	
	追想	高 井 正 幸 (松江市)	
	力泳	川 島 岩 雄 (松江市)	
	どこへ行くの?	金 山 滉 (松江市)	
	御朱印ガール	原 喜 弘 (雲南市)	
	悠久の自然	永 見 安 寛 (松江市)	
	投網漁	星 野 純 子 (松江市)	
	山里の秋	桑 原 進 (松江市)	特選
	風の心地	森 脇 孝 公 (松江市)	
	祭の男衆	赤 坂 俊 一 (安来市)	
	真夏の激闘	高 橋 幸 夫 (松江市)	特選
	湖畔を駆ける	西 上 一 義 (松江市)	
	夕餉	磯 田 律 子 (松江市)	
	むっ!!	吉 田 徹 (隠岐の島町)	
㊦	街角	松 田 桂 (大田市)	
㊦	イルミマン	大 畑 秀 人 (益田市)	
㊦	深まる秋	福 原 純 孝 (益田市)	
㊦	紅葉憧憬	島 川 鐵 雄 (益田市)	
㊦	中秋の名月	三 浦 秋 男 (益田市)	
	静寂プラハの昼下り	渡 邊 悦 男 (松江市)	
㊦	平和の流れ	山 崎 三 仁 (大田市)	
	夕焼けの詩	吉 井 睦 雄 (松江市)	
	少年	管 敏 朗 (出雲市)	
	黄昏を行く	新 田 康 彦 (出雲市)	特選
㊦	想い	岩 田 毅 (大田市)	奨励賞
㊦	祈り	杉 浦 裕 正 (浜田市)	奨励賞
	行く秋	伊 東 久 男 (松江市)	
㊦	龍の如く	尾 崎 美 智 (浜田市)	優秀賞

	題名	氏名	備考
㊦	花の下で	坂根 昭一 (大田市)	
	隠やかな春	武田 克弘 (雲南市)	
	時は流れて	長島 聡 (松江市)	
	晴れの祝日	藤原 博文 (松江市)	特選
	夏が行く	芦野 博子 (松江市)	
	不思議な夕時	神門 勉 (出雲市)	
	愛おしい時間	福田 秀樹 (松江市)	
	柔らかな冬	児玉 史郎 (松江市)	特選
㊦	群遊	岡本 和幸 (浜田市)	
㊦	秋の上高地	焼杉 正明 (江津市)	
	愚煉の景	岡 寛志 (出雲市)	
㊦	神聖	森山 典雄 (大田市)	

招待

	題名	氏名	備考
㊦	採餌	大坂 武 (松江市)	
	鯉	小笠原 富子 (松江市)	
	雷鳴	川本 貢功 (松江市)	
	雲界の富士山	菅野 紘 (松江市)	
	祝日	黒川 恵美子 (松江市)	
	仲良く観光	古浦 恵悦 (松江市)	
	佳日	児島 巧 (松江市)	
	祭りの日	高橋 馨 (松江市)	
㊦	初冬	出川 正廣 (松江市)	
㊦	盛夏	中島 哲 (松江市)	
	夕映え	浜田 周作 (松江市)	
㊦	アフタヌーン	松浦 潤一 (松江市)	
	涼風	萬井 圭三 (安来市)	
㊦	競漕	藤原 静雄 (雲南市)	
	航空ショー	金築 哲 (出雲市)	
	少年	佐々木 聡 (出雲市)	
㊦	表彰式	古瀬 俱之 (出雲市)	
㊦	流線	入江 啓介 (大田市)	
㊦	嬉戯	小林 茂雄 (江津市)	
㊦	虫送り踊り	竹本 晴男 (浜田市)	
㊦	春愁	寺澤 富美恵 (益田市)	
㊦	古代ハス	吉崎 佳慶 (益田市)	
	天狗と子供達	岡田 文夫 (隠岐の島町)	
	満春休日	若葉 信幸 (隠岐の島町)	
㊦	霧の朝	行長 好友 (出雲市)	
	ジェットバック	井上 豪 (松江市)	

	題 名	氏 名	備 考
㊦	寒さ忘れて	三加茂 幸 子 (出雲市)	
	光景	大 下 浩 昭 (松江市)	
	スポットライト	荒 木 諭 吉 (出雲市)	
㊦	静かな朝	森 脇 寿 一 (松江市)	
	ひとりぼっち	酒 井 重 礼 (松江市)	
	光る街	佐 野 弘 義 (出雲市)	
㊦	黄昏	江 川 安 夫 (浜田市)	
	ゴリラ	西 澤 由 英 (奥出雲町)	
㊦	まなごし	品 川 功 (大田市)	
	五月好日	石 飛 孝 (安来市)	
	宙船	田 村 唯 男 (松江市)	
	得意技	森 山 豊 治 (出雲市)	
㊦	静寂	岡 一 夫 (松江市)	
	近づく冬	宮 廻 親 基 (松江市)	
	雲	宮 廻 功 (松江市)	
	The impression of New York	土 江 真 弘 (出雲市)	
	初旭	前 田 健 (隠岐の島町)	
	空に舞う	藤 原 美枝子 (奥出雲町)	
	怒号	三 次 巧 侑 (出雲市)	
	回る水	渡 辺 正 史 (松江市)	
	枕木山の朝	川 津 慶 治 (松江市)	
	お伽の国へ	太 田 淳 子 (松江市)	
㊦	波紋	藤 江 松 男 (出雲市)	